

苫小牧市立中央図書館の自己評価並びに自己評価説明及び点検を踏まえ実施した図書館協議会委員による評価は以下のとおりです。

令和6年6月26日

苫小牧市図書館協議会 会長 松井 操人

<総評>

令和5年度の苫小牧市立中央図書館の運営については、コロナウイルス感染症が5類に移行され、幅広い層に向けて多彩な事業を実施されていました。

郷土資料の着実な収集やデジタル化も進んでいる点は評価できます。また、乳幼児から高齢者など様々な方のための環境整備に努められており、特に「こそだて time」は利用者にも好評であることがうかがわれます。幼少期からの読書習慣の確立は最重要であると考えられますので、環境整備のほか、読み聞かせボランティア支援の拡充および継続にも取り組んでいただき、子どもが自発的に読みたい本を探しに来るような図書館になることを期待します。

また、学校図書館との連携はすでに行われておりますが、全ての子どもたちが本に触れられる機会が与えられた学校図書館は貴重な場所であることから、さらなる連携の充実を希望します。

郷土文化セミナーで幅広い層に興味を持ってもらう工夫や時節に合わせたテーマ展示を実施する等、市民の課題解決に資する取組を多数行っている点は評価できます。しかし、「絵本講座」等、参加人数が少ない事業もあり、より多くの人に参加してもらえる工夫を考えていただくとともに、課題解決の要であるレファレンスの周知やデジタル難民を増やさない工夫、さらには高齢化社会への対策が必要であると考えます。

職員の接遇や育成向上に努力されており、利用者アンケートの結果からも満足度の高い図書館であることがわかります。司書派遣事業やアウトリーチ事業を積極的に取り組んだことは評価できると考えます。さらなる利用者拡充に向け、図書館を利用していない市民へのアンケート等も検討していただきたいと考えます。

成果指標については、達成率が高いものもあり、その点は評価できますが、数字よりも事業内容の吟味について考える必要があると考えます。

施設管理については、建物の老朽化が進み、修繕等に時間がかかっていたように感じます。環境整備費等の増加を希望するとともに、修繕等には早急な対応をしていただくよう改善を求めます。

総評並びに以下に記載する各委員の意見のまとめのほか、アンケート記載の利用者意見等を参考に、更なる図書館運営の充実に向けて努めてください。

「基本目標 1 基礎的な図書館サービスの充実」について

【評価する点】

- ・幅広い層に向けてサービスの充実を図っている点。
- ・「こそだて time」によく図書館を利用している方から、流れる音楽は子ども連れでなくても雰囲気良く、居心地が良いと伺いました。
- ・数字目標の達成度が高い点。
- ・乳幼児から高齢者、障がい者など、いろいろな方のための環境整備をしている点。
- ・時流の変化を考慮しつつ魅力ある図書館を目指して、図書館の魅力向上の新しい施策にいくつも取り組んでいる点。
- ・郷土資料の蔵書冊数も着実に増加し、かつデジタル化も進んでおり、苫小牧市の貴重な資料や情報の保存に寄与している点。

【改善を要する点】

- ・子どもの読書のきっかけは、家庭での保護者による読み聞かせです。学校や保育園、幼稚園での読み聞かせも行われていますが、なにかの行事という色合いが濃く、家庭での何気ない時間での日常的な読み聞かせが多く、家庭で行われ、それをきっかけに子どもが自分の読みたい本を探しに来るような図書館になることを願うばかりです。
- ・高齢者は読書をしたいと思っても、目が疲れやすい、行き来が大変（特に凍結路面の時期）です。今後、ますます高齢化社会になることを考えますと、高齢者施設等との連携や音訳・朗読サービス等の充実等の対策を考えていく必要性を感じます。
- ・数字よりも内容吟味についての考察が必要かと思われまます。
- ・過日、昼食を持参して来館した際に、どこで食べられるのかがわからず、サンガーデンの事務室で尋ねると、サンガーデン内のどこでも飲食できますよとのことだったので、安心して食事をすることができました。また、公共バスでの来館のために、何番の路線、どこで乗り降りするかなど、先ほどの食事場所と合わせて「利用情報」があると便利ではないでしょうか。
- ・夏の暑さ対策が求められます。日当たりのよい建物ですのでなおさらでしょう。

「基本目標２ 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化」について

【評価する点】

- ・郷土セミナーで「カレーラーメン」を取り上げる等、幅広い層に興味をもってもらえるように工夫している点。
- ・小さな子どもを預かる施設としては「青空こども図書館」はとても利用しやすいため、継続を希望します。
- ・職員の皆さんの明るく丁寧な接客対応は、ますます好評価で素晴らしいことだと思います。また、フロアボランティアの皆さんの協力も、目を見張るものがあります。いつ訪れても新鮮さを感じることができる空間作りに、細やかな配慮や工夫が見られることは、本当にありがたいことだと思っています。
- ・色々とあの手この手で、ご苦労様です。
- ・時説に合わせたテーマ展示を合計 125 回実施したり、妊婦向けの新規事業を実施する等、市民の課題解決に資する取り組みを多数行っている点。
- ・他市との交換展示が良かったです。

【改善を要する点】

- ・今後さらに進化していくであろう ICT の分野が苦手な世代にどう活用してもらうかを検討していただきたいです。「よくわからない」という思い込みから、使わない、使えないという状況へ静かに移行している人を増やさない工夫が必要だと感じています。
- ・自己評価にもありますが「プレママプレパパ絵本講座」などの参加者数が少ないので、年に数回行うなど、もっと多くの人に参加してもらえる工夫が必要かと思っています。
- ・わりと気軽にレファレンスさせてもらっています。ハードルの低さをみなさんに知ってもらいたいものです。

「基本目標3 教育的役割を重視した取組の推進」について

【評価する点】

- ・移動図書館車の取組
- ・ボランティアさんへの支援
- ・実に多彩な事業が展開され、職員の皆様の力と知恵、思いを感じます。ひとつひとつの事業に発想の豊かさや誠実さを見ることが出来、感嘆しています。
- ・若者層に対するアプローチも多種多様な準備がされており、幅広く対象セットされている点。
- ・赤ちゃんに対する事業が多く、本との初めての関わりが充実している点。事業を続けることが、読書推進への道につながると感じています。
- ・コロナ禍で実施できていなかった事業を含め、各事業を実施できている。
- ・赤ちゃんと楽しむ絵本広場や読書への関心を高める絵本作家ワークショップなどは参加があり、良かったと思います。

【改善を要する点】

- ・学校図書館との連携は既に行われていますが、今後更なる充実をお願いします。家庭による貧富の差や読書環境に対する意識の差といったものを強く感じる昨今、学校図書館は、全ての子どもたちが本に触れる機会を与えられている貴重な場所だと認識しています。
- ・ターゲット別の宣伝対策が必要だと感じています。例えば、教育委員会を通じた小中学校への連絡の徹底。DM、各種イベントでのビラ配り、宣伝の強化など。
- ・幼少期からの読書習慣の確立は最重要と考えられますので、読み聞かせボランティア支援の拡充および継続に取り組み、児童貸出冊数の増加にもつながることを期待したいです。

「基本目標4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築」について

【評価する点】

- ・各年代によって情報収集の方法はそれぞれ違う中、様々な方法で発信している点。
- ・職員接遇、育成向上に努力されている点。
- ・アンケート結果から、満足度の高い図書館であることがわかります。これは常に自己評価を行い、研修を重ねているからこそだと思います。限りのある予算や時間の中、最大の効果をあげていると感じます。
- ・全体的に努力・改善を感じます。
- ・司書派遣事業件数が増えている点。
- ・図書館にとどまらず、アウトリーチに積極的に取り組んだことは大変良かったと思います。今後も参加できそうイベントにはチャレンジして欲しいと思います。
- ・アンケートにより利用者要望を把握し、すべての意見に対して回答や対応をきちんと行っている。

【改善を要する点】

- ・他の自治体の図書館を見ると、その街の文化の高さを感じます。苫小牧市の図書館は、運営が素晴らしいと感じる一方で、老朽化が目立つ、破損や故障の修繕に時間がかかっている等々、予算的な課題を感じることも多々あります。改善を希望します。
- ・環境整備（費）の充実、運営費の増加。
- ・中央図書館と図書コーナーは、図書の貸出については同じことをしている施設なのに、図書館協議会で話題にすることはありませんでした。別施設ではあるが、実績の紹介に期待しています。
- ・「職員の入れ替わりが速い」という点は、賛否両論あるかと思いますが、このことが課題として上がってくるということは、頻繁に入れ替わることで何かデメリットを感じる人が多いのだと思います。入れ替わることでの評価ポイント（何かあれば）を今後は明らかにできるのではないのでしょうか。
- ・利用者数の拡充に向けた取り組みを実施するため、図書館を利用していない市民へのアンケート等について検討するのはどうでしょうか。